

平成29年度

成果報告会



〈第1日目〉3月19日[月]

12:30-12:40 開会の挨拶 筑波大学 T-PIRC 江面 浩

特別講演【座長 筑波大学 T-PIRC 渡邊 和男】

12:40-13:10 ■筑波大学 T-PIRC 渡邊 和男
遺伝資源の輸入についてFAO ITやCBDの解説

13:10-14:20 ■横浜植物防疫所 調査研究部 横井 幸生
植物防疫上の注意点について

Session1【座長 筑波大学 T-PIRC 小野 道之】

14:35-15:15 ■農研機構 間 竜太郎
遺伝子組換え青色キクの実用化に向けた生物多様性影響評価における形質転換植物評価技術に関する研究

15:15-15:35 ■農研機構 渋谷 健市
アサガオEPH1遺伝子のゲノム編集と花弁老化における遺伝子制御ネットワークの解明

15:35-15:55 ■農研機構 大宮 あけみ
黄花アサガオの再現～江戸期に存在した花きの再現を通じた遺伝子組換え植物の国民的な認知に向けた試み～

Session2【座長 筑波大学 T-PIRC 渡邊 和男】

16:10-16:30 ■理化学研究所 中野 雄司
ブラシノステロイド情報伝達遺伝子群によるサトウキビ・トマトへの有用形質の導入

16:30-16:50 ■静岡大学 本橋 令子
遺伝子組換えによるジャトロファの種子大型化

16:50-17:10 ■近畿大学 田茂井 政宏
二酸化炭素固定能力を強化した植物の実用利用開発

Session3【座長 筑波大学 T-PIRC 柴 博史】

17:25-17:45 ■東京農業大学 太治 輝昭
高温耐性付与遺伝子導入トマトの解析

17:45-18:05 ■広島大 島田 裕士
ナス科植物のCYO1/CYO2遺伝子高発現体の光合成効率解析

18:05-18:25 ■大阪府立大学 吉原 静恵
光受容体改変によるトマトの生産性向上技術の検討

〈第2日目〉3月20日[火]

Session4【座長 筑波大学 T-PIRC 三浦 謙治】

9:00-9:20 ■北海道大学 伊藤 秀臣
環境ストレス活性型トランスポゾンを用いたストレス耐性植物の作出

9:20-9:40 ■九州工業大学 花田 耕介
植物ホルモンのシグナル伝達を阻害するペプチド性遺伝子の機能解析

9:40-10:00 ■九州大学 丸山 明子
硫黄栄養の感知から硫黄同化系の調節にいたる過程で働く新規情報伝達因子の探索

Session5【座長 筑波大学 T-PIRC 有泉 亨】

10:20-10:40 ■宇都宮大学 児玉 豊
植物の形質転換に影響する未知要因の同定と制御

10:40-11:00 ■理化学研究所 門田 康弘
スーパーアグロバクテリウムを用いて非モデル植物における一過的遺伝子発現、及びウイルス誘導性ゾーンサイレンシング手法を確立する

11:00-11:20 ■株式会社プリベンテック 関川 賢二
植物を用いたウイルス様粒子(VLP)ワクチンとアジュバント生産の研究

11:20-11:50 総合討論 座長 筑波大学 T-PIRC 大澤 良

11:50-12:00 閉会の挨拶 筑波大学 T-PIRC 渡邊 和男

場所	日時
筑波大学春日キャンパス(茨城県つくば市春日1丁目2)	平成30年 3月19日[月] 12時30分～18時25分
情報メディアユニオン3階共同研究会議室1	3月20日[火] 9時～12時

事前参加登録不要



筑波大学 T-PIRC
遺伝子実験センター
形質転換植物デザイン研究拠点

<http://www.gene.tsukuba.ac.jp/>

